

プリンカ まほろば大仏プリン 奈良県奈良市

プリンに救われて プリンのお母さん、パークを つくった夫婦の物語

週末には1000人も人が訪れることもあるというプリン専門店が奈良市にある。懐かしい味わいと滑らかな食感にハマる人が続出。SNSでも話題沸騰中だが、ここにたどり着くまでにはオーナー夫妻の苦勞があった。



コーヒー味、チョコレート味、大和茶味、奈良八重桜味など、さまざまなプリンを取りそろえている。

近鉄奈良駅からバスに乗ると約8分。見えてくるのはカラメル色の波打つ屋根にクリーム色の壁のプリンの家。まるでメルヘンの国のようなこの建物は「まほろば大仏プリン本舗」の本店、通称「プリン森カフエ」だ。建物には直線的な部分がほとんどなく、まるでフリーハンドで描いたような優しい丸みを帯びる。



まほろば大仏プリン。(大・864円、小・378円、価格は税込み)

至るまでの道のりは「崖っぷちからの生還だった」と洋之さんは話す。

「1996年(平成8)に別の場所から始めたパスタ店が2005年ごろに経営が芳しくなくなり、打開策として当時デザートとして好評だったプリンに力を入れてみることにしたんです」

「正直に言えばそんなに期待してはいたわけではなく、僕らにも思いがけない反響でした。第2回目の『奈良県観光みやげもの大賞』に応募したところ、初出

品ながら、最優秀賞をいただきました」

以後2年連続で入賞することになり、認知度はさらにアップした。

「まほろば大仏プリン」のベースはお菓子作りが好きだった有紀さんのお母さんのレシピ。「お母さんが子どものために作る手作りプリン」のような心にしみるやさしい味が特徴だ。

「上質な生クリームをたっぷり使った基本のレシピは、店が大きくなっても変えていません」と洋之さん。

大きなサイズのカスタードはシンプルな素材のみで作った昔懐かしい硬めのプリン。小さいサイズはよりなめらかな口どけでチョコレート味やレアチーズ味などがあり、現在は全部で15種類ほど。他にも日持ちのするクッキーやジャム、本店限定の

ソフトクリーム、さらに店のシンボルである大仏や鹿のイラストをあしらったTシャツやハンカチなども販売。「プリンのお母さん」と呼ばれるのもうなすける。

「この店はプリンへの感謝の気持ちを込めて、五感でプリンを感じてもらえるようにと、かなり手をかけ造りました。これからは食だけでなく、衣や住の部分でも僕らなりの提案ができるような店を目指していきたいですね」

だからといって今のところ全国展開などは考えていない。あくまで奈良の食材を生かした、奈良にしかない「まほろば大仏プリン」なのだ。最近SNSを通じて、外国人観光客も増加の一途。多くの人を引きつけている。(丸山貴未子)

- 1 ほぼ直線のない建物が愛くるしい「まほろば大仏プリン本舗本店」。
- 2 苦難を乗り越えて今はプリンとともに生きている高岸夫妻。

